

資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [組織活動](#) | [労働組合の力の源泉](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[▶ キーワード検索はこちら](#)

労働組合の力の源泉

労働組合（運動体）の「力の源泉」は

どんな組織も構成員の働き（活動）がなければ力を発揮することはできない。

労働組合の「力の源泉」として三点が上げられる。

「**回結力**・**政策力**・**財政力**」である。

1. 回結力 —— 「まとまり」であり、回い絆の凝集力である。

1. 量的側面・・・数は力なり（構成員数は、少ないより多い方がよい）
2. 質的側面・・・①組合員意識（当事者意識）が高いこと（本音の意見と反映）
3. 目標意識が高く、お互いに共有していること。
4. 理解・納得の上に合意形成がなされ、協力関係による活動が活発に展開されていること。
5. 組合（事務所）が大いに活用されていること。

2. 政策力 —— 欲求・ニーズの実現のための「手段・方法・手順」が適切。

1. 客観的要素・・・①目標設定に社会的妥当性があること。
②相手（会社など）に対し、説得性、納得性のある政策提言を具体化できること。
③短期・中長期にわたる情勢判断による政策提言であること。
2. 主観的要素・・・①組合員の理解・納得、合意形成による目標設定及び政策であること。
②技術的側面としての協議・交渉力（話術・人間性）の質的強化が常に図られていること。
③組合員の英知を結集する仕組みと組合員が組織的にも個人的にも能力アップの努力がなされていること。

3. 財政力 —— 活動を支え、裏付ける資金対策

1. 運営費・・・①日常の活動を支える。
2. 闘争資金・・・①争議行為を支える。
②スト期間中の生活保障の生活資金。
3. 予備資金・・・①緊急対応、非常時対応。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録**お申し込みはこちらです。**[>>一覧へ戻る](#)

